

# 医療通訳セミナー

医療通訳って何？

知りたい

見たい

聞きたい

実際どんなことをするの？

どんなことを勉強しているの？

10:00～	かいこう あいさつ 開講の挨拶	つるたみつこ 鶴田光子 MICかながわ理事長
10:05～11:30	いりょうつうやく いりょうつうやく ところかま 医療通訳とは・医療通訳の心構え	さわただかし 沢田貴志 MICかながわ理事 みなとまちしんりょうじょしよちよう いし 港町診療所 所長、医師
11:40～12:40	がいこくじんいりよう げんじよう にほん いりようせいど 外国人医療の現状・日本の医療制度	はやかわひろし 早川寛 MICかながわ副理事長 みなとまちしんりょうじょしよむちよう 港町診療所事務長
12:40～13:30	ちゆうしょくきゆうけい … 昼食休憩 (50分) …	
13:30～14:50	たいじんえんじよ たぶんかきようせい 対人援助スキル・多文化共生	つるたみつこ 鶴田光子 MICかながわ理事長 せいびょういん 聖テレジア病院ソーシャルワーカー
15:00～16:30	つうやくぎじゆつ ロールプレイ・通訳技術	いわもとやよい 岩本弥生 MICかながわ ポルトガル語医療通訳スタッフ
16:30～	へいこう あいさつ 閉講の挨拶	つるたみつこ 鶴田光子

参加者：53名（行政・地域国際化協会関係者、医療関係者、通訳、大学教員、会社員、主婦等）

MICかながわは神奈川県や県内自治体と協働で毎年医療通訳ボランティアを募集し、養成研修を行っています。2日間の座学、さらに2日間の言語別ロールプレイを通して選考を行っています。

今回の医療通訳セミナーは医療通訳に関心のある方を対象にして、しかも4日間にわたる研修を一日に収める形で企画しました。

医療通訳はどうして必要なのか、MICかながわの医療通訳スタッフはどのような研修を受けているのか、多くの方に知っていただき、理解していただけるセミナーにしたいと工夫をしました。

## 1. 医療通訳とは/医療通訳の心構え

講師：沢田貴志（MICかながわ理事・港町診療所所長・医師）

.....中国語を話す患者さんの受診風景の寸劇.....

まだあまり日本語ができない中国人の患者さんが受診しました。医師に上手に症状を伝えられませんが、医師は筆談を試みます。最初は漢字の筆談で上手くいくように思われました。ところが、途中で医師に「きつこういう意味だろう」と間違った解釈をされてしまい、実際の症状とは別の薬を処方されることになってしまいました。

ところが、医療通訳が入るとどうでしょう。身振り手振りや筆談で対応していたときと比べると、医師のほしい情報があつという間に引き出せ、適切な治療につながりました。



医療通訳が必要な理由と、通訳者が気をつけなければならないことを、医療通訳の心得10ヶ条一つ一つの項目について、なぜ、そうなのか、なぜ、そうするのかという説明がありました。聞いた後、「あ～、なるほど」と思った参加者が多かったのではないのでしょうか。

## 2. 外国人医療の現状/日本の医療制度

講師：早川寛（MICかながわ副理事長・港町診療所事務長）

医療制度に関する知識は、一見医療通訳とはあまり関係ないように思われます。しかし、医療費の支払いについてソーシャルワーカーと相談するとき、病気によっては公費助成制度が使えるなど、医療制度に関わる話に及ぶことがしばしばあります。通訳者が制度についての基礎的な知識を持っていることがスムーズな通訳につながります。

### 3. 対人援助スキル／多文化共生

講師：鶴田光子（MICかながわ理事長・聖テレジア病院ソーシャルワーカー）

患者さんは身も心も弱っています。患者さんと関わる時、医療通訳者はどのようなことを心に留めておくべきなのでしょうか。ことばを機械的に訳すのではなく、患者さんに寄り添う医療通訳者であるにはどのようなことが求められるのでしょうか。

### 4. ロールプレイ／通訳技術

講師：岩本弥生（MICかながわポルトガル語医療通訳スタッフ・コーディネーター）

通常の医療通訳養成研修では、言語別体験型のロールプレイが行われますが、今回は参加者の背景が多様だったため、見て考えるロールプレイの形をとりました。

まずロールプレイ見る上での着眼点を受講者に説明しました。その後、「関西国」から来た「関西語」を話す患者さんの受診風景＜通訳失敗例＞の寸劇を見て、どこがいけなかったと思うか参加者に問いながら、その部分を再現し確認しました。1コマ目の『通訳の心構え』の講義で学んだことの復習となり、受講者の皆さんの皆さんが的確に指摘していたのが印象的でした。

アンケートに書かれた内容のひとつひとつが、MICかながわへの励ましとなり、特に、今後のMICかながわが進む道を指し示していただいたような感想もありました。いくつかをご紹介します。

★ただ単に言葉の訳をすればいいのではなく、非言語による発信をいかに理解してあげるかで、より良い通訳ができるのではないかと思います。

★いろいろ断片的に入ってきている知識をまとめる上で、大変役に立つ研修でした。

★全体に外国人との共生に重点を置き、優しさを必要とする活動の理念に大変感動しました

